

**実績報告 別記第2号様式 別紙2の  
テーマごとに作成してください。**

## とうきょう すくわくプログラム活動報告書

幼稚園番号	2820412
園名	豊多摩幼稚園

## 1. 活動のテーマ

外国人講師による英語・異文化との触れ合い

## &lt;テーマの設定理由&gt;

当園では、週1回のペースでネイティブ講師による英語の触れ合いを実施している。英語を学ぶというよりは、聞いて馴染む、英語の曲に合わせて歌ったり、ダンスをして英語に親しむことを目的としている。さらに、ハロウィンやクリスマスなどのイベントを通して異文化にも興味、関心が持てるようにしている。

## 2. 活動スケジュール

長期休暇期間を除く、毎週1回火曜日に実施。クラスごとに行う。

## 3. 探究活動の実践

## &lt;活動の内容&gt;

週に1回外国人講師が来園し、各クラス活動を行う。

講師も英語だけを話し、朝の挨拶からスタート。お天気の英単語、感情を表現する英単語を学ぶ。

毎月のテーマに沿って英単語のフラッシュカードを利用し学ぶ。

子どもたちとコミュニケーションをとりながらゲームをしたり、絵本の読み聞かせをしたり、歌を歌ったりする。

子どもたちも積極的に取り組み、講師の話すことをよく聞いて同じように発音している様子がみられる。

また、英語で話すおもしろさ、講師に話しかけ伝わった時の喜びを感じている姿もみられた。

職員も一緒に参加し、理解が難しい子どものサポートをしたり、集中して取り組めるよう声掛けをした。

☆フラッシュカードを利用した学び



#### 4. 振り返り

毎月保護者に配布する「園だより」の中で、英語のテーマや内容を具体的に記入して紹介し、保護者にも情報を共有していた。また、公開日も設け、どのようなレッスンが行われているのかを実際に見て頂く機会を作った。

英語のレッスンがない日には、週に3回ほど園長が中心となって職員も一緒に全園児とフラッシュカードを使って、物の名前や、アルファベット、1～7の数字や体のパーツ、乗り物の名前など、英語のレッスンで学んだことを復習したり、今日の天気を英語で尋ね、子どもたちが答えたり、クイズを出したりとゲーム感覚で振り返りを行った。

また、発音の間違いないように歌の歌詞を講師の会社に問い合わせたり、発音の仕方などを確認して、全職員にも周知し、共有して振り返りにも取り組んだ。

#### ☆朝礼での振り返りの様子



**実績報告 別記第2号様式 別紙2の  
テーマごとに作成してください。**

## とうきょう すくわくプログラム活動報告書

幼稚園番号	2820412
園名	豊多摩幼稚園

## 1. 活動のテーマ

専門の体育指導員による体操指導

## &lt;テーマの設定理由&gt;

子どもは、出来るようになると興味や関心が高まり、更なる高みを目指して工夫や努力をするようになる。

そのため、当園では発達段階に応じて体操のテーマを教職員が検討し、講師に伝え、講師と職員が一緒になって子どもの手助けをし、子どもが達成感を味わえるように努めている。

## 2. 活動スケジュール

長期休暇を除く週1回月曜日にクラス毎に行う。

## 3. 探究活動の実践

ホールや園庭で活動が行えるよう、体操で使うための道具を準備する。(マットや跳び箱、コーンなど) 体育講師が各クラスにその日の指導計画に合わせて体操の指導を行う。具体的には柔軟体操や準備運動、マラソン、縄跳びや、鉄棒、跳び箱、マット運動、ボールなどである。

子どもたちは、体を動かすことの楽しさ、出来ないことを出来るようになるための努力もみられ、友だち同士が励ましあい切磋琢磨しながら出来るようになった喜びを感じ、講師や教諭とその気持ちを共感し、次への目標を定めながら向上心をもって取り組めるようになった。縄結び等の道具の使い方、片づけ方も大切なことなので指導した。

#### ☆鉄棒の指導風景



#### ☆縄跳びの片付け



#### 4. 振り返り

毎月保護者に配布する「園だより」の中で、体操のテーマや内容を具体的に記入して紹介し、保護者に情報を共有していた。また、公開日も設け、どのような指導が行われているのかを実際に見て頂く機会を作った。

体育指導がない日には、週2回ほど柔軟体操（長座体前屈、開脚前屈、体側伸ばし、首のストレッチ、アザラシのポーズ、ブリッジなど）を各学年の発達段階に合わせて担任教諭が中心となり、行った。また、自由あそびの中でも縄跳びやボール、鉄棒などが使えるよう環境を整え、こどもたちが自発的に取り組んだり、自分が定めた目標が達成されるように教諭も励ましたりアドバイスなどをした。そのような取り組みの中で、子ども同士が自らどうしたらよいかなどを考えたり、励ましあったり、アドバイスし合う姿がみられ、お互い目標を達成する喜びや、達成感を感じ、時分の事だけでなく子ども同士がお互いの成功や出来るようになったことを褒め合う様子がとても印象的であった。子どもの心の成長に欠かせないことを活動の中から感じる事ができた。